

令和7年度学校だより

学校教育目標

自主 責任 明朗

キャッチフレーズ

夢・自信・誇り



開校46年目

六中だより 7月号

〒352-0023 埼玉県新座市堀之内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <https://j-dairoku-c-niiza.edumap.jp>

→ 第六中HP →

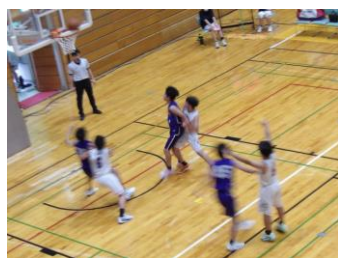


～「夢・自信・誇り」を育む学校を目指して～
「涙する」とき

校長 中島 豊

7月を迎え、暑い日が続きます。第六中では、一昨年度は体育館と武道場に新規にエアコンを設置し、昨年度は老朽化した教室のエアコンを新しいものに付け替えてもらいました。また、校内での水分補給の利便性を向上させるため、ペットボトルの持参を可とし、今年度からは本校の取り組みである「ルールメイキングプロジェクト」での話し合いを経て、熱中症対策の観点から体育着のいわゆる「シャツ出し」を可としました。引き続き、熱中症予防に取り組んでまいります。

さて、先月は「学校総合体育大会」の地区予選が行われました。多くの3年生にとっては最後となる大会であり、負ければその敗戦が中学校の部活動としては最後の試合となります。激励・応援のために各会場をまわった中で、その瞬間に立ち会うことが何度ありました。



サッカー部は、後に勝ち進んで県大会出場を決めた強豪校との対戦でした。積極的に点を取りに行った結果、前半で大差をつけられてしまったのですが、生徒たちはあきらめずに闘い続け、後半に1点を返しました。しかし、そのままタイムアップ。ベンチに引き上げる中、ある生徒はユニフォームで顔を覆い、ある生

徒は人目をはばからず、声を上げて泣いていました。その他の会場でも、生徒たちが全力を出し切った「最後の試合」のあとで涙する姿が多く見られました。3年間一生懸命に部活動に取り組んだからこそその涙だと思います。

思えば、大人になると、映画を観たり、本を読んだりして涙することはあっても、自身の体験で泣くことはあまりないのではないのでしょうか。部活動、体育祭、合唱祭、卒業式など、感動の涙やうれし涙、悔し涙などを流す場面が中学校にはたくさんあります。このような涙を多く流すのは、長い人生の中で中学生の3年間であるという気がします。生徒たちの涙を見て、大事な3年間を預かる立場として身の引き締まる思いがしましたし、「良い涙」をたくさん流させてあげたいと思いました。



頑張った生徒の皆さん、お疲れさまでした。上位大会に出場する皆さんは、引き続き頑張ってください。また、大会当日応援に来てくださったたり、涙に至る生徒の努力を支えてくださったたりした保護者の皆様、ありがとうございました。

